

ごみ減量・リサイクルに関する市民アンケート結果

目的

市民を対象として、ごみの減量・リサイクルに関する意識や取組み状況について調査を行い、課題抽出や現行施策の評価、新たな施策等を検討するための基礎資料とすること。

背景

第3次鎌倉市一般廃棄物処理基本計画の策定(平成 28 年 10 月)にあたり、平成 26 年(2014 年)11 月 28 日～12 月 10 日にごみ減量・リサイクルに関する市民アンケートを実施し、基礎資料として活用しました。当時から約 10 年間、計画に基づく施策の実施や情勢の変化により、市民の意識・取組みにどのような変化があったのかを確認するため、今回改めてアンケートを実施しました。

実施概要

対象者 :10 月 31 日時点で 18 歳以上の市民 2,000 人(無作為抽出)

依頼方法:令和6年(2024 年)12 月6日(金)資料郵送にて依頼

回答方法:紙又は WEB(e-kanagawa 電子申請システム)

結果概要

集計対象:依頼発送後、令和7年(2025 年)2月 10 日(金)着までの回答分

回答数:872 件(紙提出:763 件、電子提出:109 件) ※9件が宛先不明等で返送

回収率:43.6%(=872/2,000)

結果詳細

次のとおり

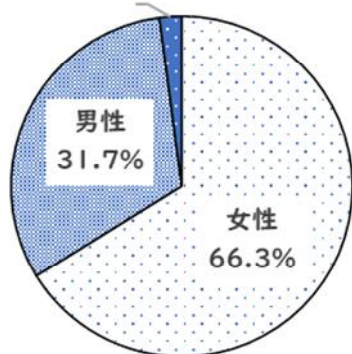
- ・p.2～12…………全設問(問1～問 28)の集計結果
- ・p.13～16 ……一部の設問に関するクロス集計結果
- ・p.17～24…………前回平成 26 年度(2014 年度)に実施したアンケート結果との比較

※回答割合は小数点以下第二位を四捨五入した値で表示しており、端数処理の都合上、合計が100%でない項目があります。

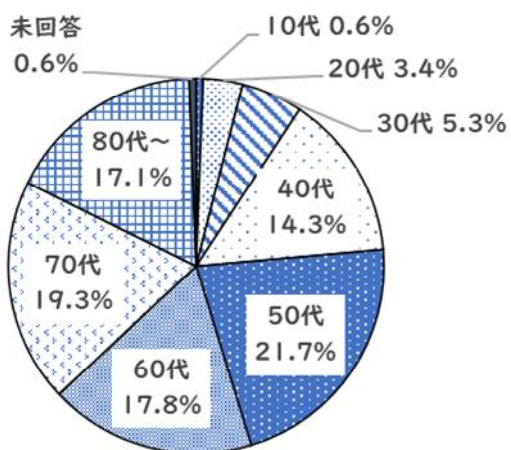
【回答者の属性】

問1 性別

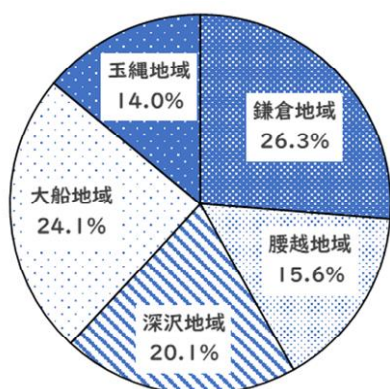
その他・未回答 2%



問2 年齢



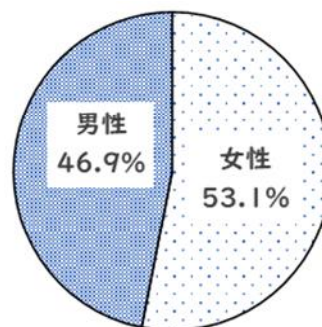
問3 居住地域



（参考）鎌倉市人口における割合

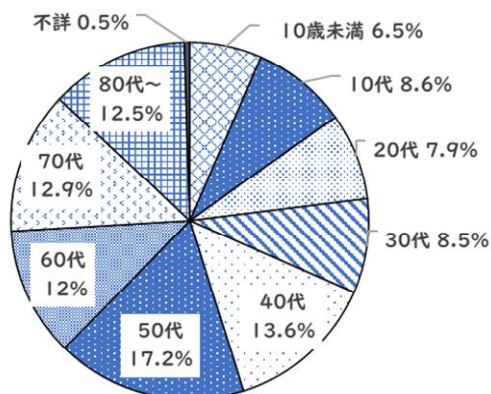
（令和2年国勢調査結果（確定値）を基礎として、住民基本台帳法及び戸籍法の定める届出等の増減を加算して推計）

○性別（令和7年（2025年）1月1日現在）

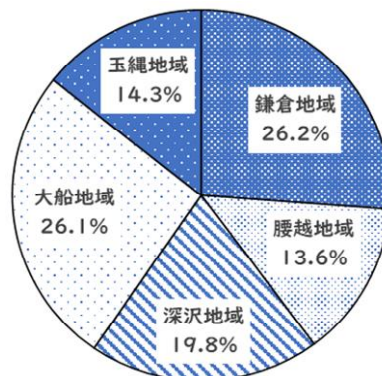


○年齢（令和6年（2024年）1月1日現在）

※令和7年（2025年）1月1日現在は未公表

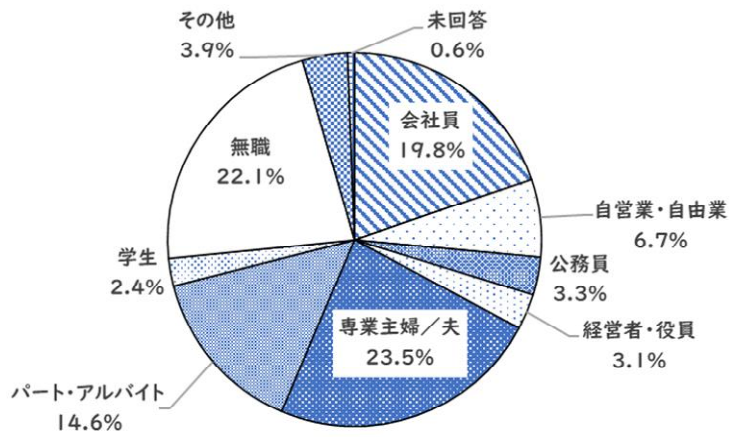


○居住地域（令和7年（2025年）1月1日現在）

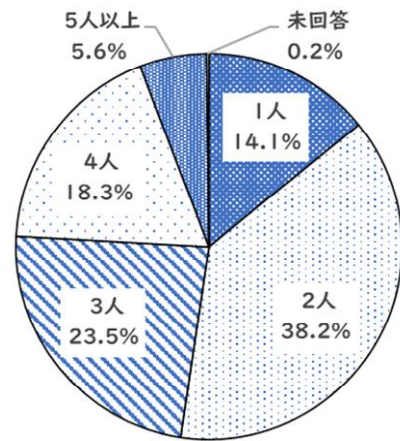


※問3 台については、1丁目が玉縄地域、未表示地区及び2～4丁目が大船地域であり、令和7年1月現在の鎌倉市人口（令和2年国勢調査結果（確定値）を基礎として、住民基本台帳法及び戸籍法の定める届出等の増減を加算して推計）の地域別・町丁・字別人口における割合で按分して算出しました。

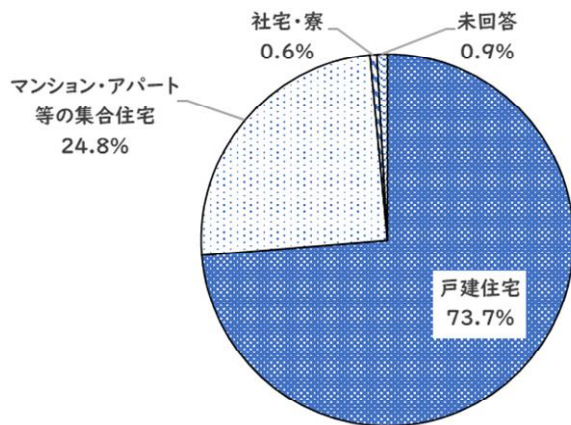
問4 職業



問5 世帯人数



問6 居住形態



※以降の内容において、割合は各設問の回答者数から算出しています。各設問の回答者数は、全体の回答者数(872 人)と異なる場合があります。

【ごみと資源物の排出及び分別状況について】

問 7 あなたはごみと資源物を以下の品目別に分別して出していますか。

ごみと資源物の品目

飲食用カン、飲食用ビン、容器包装プラスチック、製品プラスチック、ペットボトル、植木剪定材、紙パック、ミックスペーパー、新聞・雑誌・ボール紙・段ボール、布類、使用済み食用油、燃えないごみ、危険・有害ごみ（蛍光管、乾電池など）、燃やすごみ、粗大ごみ、棒状板状等粗大ごみ、棒状板状等特定粗大ごみ

項目	回答数	割合
1.きちんと分別している	671	77.0%
2.ほとんど分別している	183	21.0%
3.時々分別している	3	0.3%
4.ほとんど分別していない	1	0.1%
5.まったく分別していない	0	0.0%
6.自分以外の人が分別している	13	1.5%
7.分からない	0	0.0%
8.未回答	1	-
合計	872	

※回答者数：871 人

問 8 問 7 で「1. きちんと分別している、2. ほとんど分別している、3. 時々分別している」を選択された方におたずねします。分別する理由を教えてください。（2 つまで）

項目	回答数	割合
1.分別することがルールで定められているため	698	81.8%
2.地球の資源を大切に、循環型の社会をめざすため	429	50.3%
3.鎌倉の環境を良くするため	148	17.4%
4.鎌倉市内の焼却施設が停止することで、焼却量を減らさなくてはならないため	85	10.0%
5.焼却による CO2 排出量を減らすため	118	13.8%
6.その他	13	1.5%
合計	1491	

※回答者数：853 人

問9 問7で「4. ほとんど分別していない、5. まったく分別していない」を選択された方におたずねします。分別していない理由を教えてください。（2つまで）

項目	回答数	割合
1.面倒なため	3	50.0%
2.分別しても本当にリサイクルされているか分からないため	0	0.0%
3.なぜごみの減量やリサイクルをするのか分からないため	1	16.7%
4.分別方法が複雑で分からないため	1	16.7%
5.自分1人がごみの減量やリサイクルに取り組んでも何も変わらないため	0	0.0%
6.仕事や家事に追われてごみについて考える余裕がないため	1	16.7%
7.その他	0	0.0%
合計	6	

※回答者数：6人

※問7で分別していると答えた方の回答を含む

問10 生ごみ処理機の使用状況を教えてください。生ごみ処理機を使用していますか。

項目	回答数	割合
1.使用している	96	11.1%
2.使用していない	729	84.6%
3.使用していないが生ごみは庭などに埋めている	37	4.3%
未回答	10	-
合計	872	

※回答者数：862人

問11 問10で「1. 使用している」を選択された方におたずねします。

生ごみ処理機の種類を教えてください。（いくつでも）

項目	回答数	割合
1.電動型（ごみを消滅させるタイプ）	0	0.0%
2.電動型（ごみを乾燥させるタイプ）	36	35.0%
3.電動型（ディスポーザー）	20	19.4%
4.電動型（その他）	1	1.0%
5.非電動型（屋外用）	45	43.7%
6.非電動型（屋内用）	3	2.9%
合計	105	

※回答者数：103人

【食品ロスについて】

食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。鎌倉市では、令和5年度（2023年度）の家庭系燃やすごみ組成調査の結果、食べ残し等が燃やすごみ全体の32.72%、未開封の食品が3.83%、調理での過剰除去が1.69%含まれ、重量で換算すると年間約8,600tになります。

これらの食品ロスの状況について、ご家庭や外食での状況や背景などをお伺いします。

問12 あなたはご家庭で、食材を無駄がないように調理に使う・食べるようにしていますか。

項目	回答数	割合
1. いつもしている	356	41.2%
2. ほとんどしている	438	50.7%
3. 時々している	56	6.5%
4. ほとんどしていない	10	1.2%
5. まったくしていない	0	0.0%
6. 家庭では食材を一切調理しない／食べない	4	0.5%
未回答	8	-
合計	872	

※回答者数：864人

問13 問12で「1. いつもしている、6. 家庭では食材を一切調理しない／食べない」以外を選択された方におたずねします。あなたのご家庭から食材の無駄が出てしまう理由は何ですか。（いくつでも）

項目	回答数	割合
1. 食材を多く買ってしまう	212	45.5%
2. 余分に作ってしまう	137	29.4%
3. 余った食材を上手に調理できない	97	20.8%
4. 適切な保管方法が分からずすぐに傷んでしまう	62	13.3%
5. 保存食品（缶、カップ麺など）の賞味期限に気付かない	106	22.7%
6. 食材の在庫を把握できていない	68	14.6%
7. その他	56	12.0%
合計	738	

※回答者数：466人

問14 以下のような「消費期限」と「賞味期限」の違いを知っていましたか。

消費期限……袋や容器を開けないままで、書かれた保存方法を守って保存していた場合に、この「年月日」まで、「安全に食べられる期限」のこと
賞味期限……袋や容器を開けないままで、書かれた保存方法を守って保存していた場合に、この「年月日」まで、「品質が変わらずにおいしく食べられる期限」のこと。
※消費期限に比べ、傷みにくい食品に表示されています（作ってから3ヶ月以上もつものは「年月」で表示することもあります）。この期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるわけではありません。

項目	回答数	割合
1.はい	762	93.4%
2.いいえ	54	6.6%
未回答	56	-
合計	872	

※回答者数：816人

問 15 外食時に食べ残さないようにしているか教えてください。

項目	回答数	割合
1.いつもしている	556	64.1%
2.ほとんどしている	225	26.0%
3.時々している	27	3.1%
4.ほとんどしていない	7	0.8%
5.まったくしていない	4	0.5%
6.外食はしない	48	5.5%
未回答	5	-
合計	872	

※回答者数：867人

問 16 問 15 で「1. いつもしている、6. 外食はしない」以外を選択された方におたずねします。

外食時に食べ残しが出る理由は何ですか。(いくつでも)

項目	回答数	割合
1.嫌いな食材や味付け・調理方法のため	65	25.6%
2.少なめに注文できるシステムが飲食店にないため	114	44.9%
3.味や量がメニューでイメージしていたものと違うため	94	37.0%
4.食べられる量に関係なく、食べたいものを注文するため	29	11.4%
5.時間制限がある場合、食べ終わる前に時間が終わってしまうため	4	1.6%
6.食べ残しても追加料金などのペナルティがないため	12	4.7%
7.大皿での提供で残った料理の取り分けを遠慮してしまうため	9	3.5%
8.その他	31	12.2%
合計	358	

※回答者数：254人

問 17 お店を選ぶ際、食品ロスの削減を行っているお店を積極的に選択していますか。

項目	回答数	割合
1.いつも積極的に選択している	49	5.9%
2.時々選択している	86	10.3%
3.気にしていない	700	83.8%
未回答	37	-
合計	872	

※回答者数：835 人

問 18 鎌倉市では、市内で食品ロス削減に取り組んでいるお店を「食品ロス削減協力店」として登録しています（お店ではステッカーを掲示）。

食品ロス削減協力店の利用状況等について、教えてください。

取組の例：少量メニュー等の提供、持ち帰りの対応、期限が間近な食料品の割引販売、食べ残しを減らすための案内、ばら売り・量り売りでの提供、フードバンクなどへの食料品の提供



（市内 80 件のお店・事業者が登録中）

項目	回答数	割合
1.毎日利用している	5	0.6%
2.毎週利用している	24	2.9%
3.毎月利用している	8	1.0%
4.数回利用したことがある	71	8.5%
5.利用したことがない 又は 食品ロス削減協力店の取組を知らなかった	732	87.1%
未回答	32	-
合計	872	

※回答者数：840 人

問 19 問 18 で「5. 利用したことがない 又は 食品ロス削減協力店の取組を知らなかった」以外を選択された方におたずねします。実際に利用された（されている）取組みを教えてください。（いくつでも）

項目	回答数	割合
1.少量メニュー	41	36.9%
2.持ち帰り	46	41.4%
3.賞味又は消費期限が間近な食料品の割引販売	57	51.4%
4.ばら売り・量り売りでの提供	18	16.2%
5.その他	1	0.9%
6.利用した取組はない	10	9.0%
合計	173	

※回答者数：111 人

問 20 問 18 で「5. 利用したことがない 又は 食品ロス削減協力店の取組を知らなかった」を選択された方におたずねします。次のうち利用したいと思うものがあれば教えてください。(いくつでも)

項目	回答数	割合
1.少量メニュー	320	45.1%
2.持ち帰り	397	56.0%
3.賞味又は消費期限が間近な食料品の割引販売	407	57.4%
4.ばら売り・量り売りでの提供	286	40.3%
5.その他	24	3.4%
合計	1434	

※回答者数：709 人

【ごみ減量・リサイクルに関する取組状況について】

問 21 市民一人ひとりがごみの減量、資源化をすすめるために、以下に示す 3R の中で最も大切なことは何だと思えますか。(1つだけ)

項目	回答数	割合
1.ごみになるものを買わない、もらわない (Reduce:リデュース)	322	37.9%
2.ごみとしてすぐに捨てずに繰り返し使う (Reuse:リユース)	103	12.1%
3.きちんと分別して資源として再生する (Recycle:リサイクル)	430	50.6%
未回答	23	-
合計	878	

※回答者数：849 人 (複数回答有)

問 22 今後より一層リユースの取組を推進していくため、以下の中で利用したい取組を教えてください。(いくつでも)

項目	回答数	割合
1.不要品引取り (自身で持込み)	416	50.4%
2.不要品引取り (自宅等で回収)	457	55.4%
3.事業者による不用品のマッチングサービス (メルカリ、ラクマなど)	216	26.2%
4.地域内のフリーマーケット	224	27.2%
5.シェアリングサービス	108	13.1%
未回答	47	-
合計	1468	

※回答者数：825 人

問 23 鎌倉市のごみに関する施策のうち、現在特に関心のある施策を教えてください。（2 つまで）

項目	回答数	割合
1.燃やすごみの戸別収集（令和7年度一部地域、令和8年度全市で開始）	434	55.0%
2.生ごみ処理機購入費助成制度（上限3万円で非電動型90%、電動型75%の購入費助成）	164	20.8%
3.リユースネットかまくら（インターネットによる不用品登録制度）	147	18.6%
4.植木剪定材からできた土壌改良材の無料配布	128	16.2%
5.ふれあい収集	33	4.2%
6.ごみ処理広域化（逗子市・葉山町との広域化実施計画）	148	18.8%
7.給水スポットの設置（市内の公共施設等にマイボトル専用のウォーターサーバーの設置）	104	13.2%
8.食品ロス削減協力店の登録	121	15.3%
9.リユース食器利用費補助金交付制度	41	5.2%
未回答	83	-
合計	1403	

※回答者数：789 人

問 24 生ごみを捨てる前に水切りをしているか教えてください。

生ごみの約 80%が水分であることから、捨てる前に水切りをすることで約 10%の水分を除くことができ、燃やすごみの減量や悪臭の防止、ごみの焼却効率の向上につながります。

項目	回答数	割合
1. いつもしている	529	63.9%
2. 時々している	207	25.0%
3. ほとんどしていない	74	8.9%
4. 全くしていない	18	2.2%
未回答	44	-
合計	872	

※回答者数：828 人

問 25 問 24 で「1. いつもしている、2. 時々している」を選択された方におたずねします。

普段している水切りの方法について教えてください。(いくつでも)

項目	回答数	割合
1.捨てる前にひと絞りする	543	73.6%
2.食品トレーや市販の水切りグッズを活用する	207	28.0%
3.乾いている生ごみを濡らさないようにする	230	31.2%
4.シンクの中に三角コーナーを置かない	196	26.6%
5.シンクの中にキッチンペーパーや食品用ラップフィルムを入れない	140	19.0%
6.お茶がらなどを広げて、風通しのいい場所で乾かす	41	5.6%
7.その他	40	5.4%
未回答	134	-
合計	1531	

※回答者数：738 人

※問 24 で「ほとんどしていない」を選択された方、未回答の方の回答を含む

問 26 容器包装プラスチック、製品プラスチック、ペットボトル、使用済み食用油、飲食用カン・ビン、紙類、布類、植木剪定材などの資源物が、何に資源化されるか知っていますか。

(参考) 品目と資源化されるもの

容器包装プラスチック (プラスチック製品、ガス化燃料など)、製品プラスチック (プラスチック製品など)、ペットボトル (ペットボトル)、使用済み食用油 (バイオディーゼル燃料、飼料、塗料)、飲食用カン・ビン (アルミ缶、製鉄原料・ビン製品など)、紙類 (トイレットペーパー、同じ品目など)、布類 (古着、工業用雑巾など)、植木剪定材 (土壌改良材、バイオマス燃料など)

項目	回答数	割合
1.知っている	172	20.5%
2.部分的に知っている	551	65.8%
3.知らない	114	13.6%
未回答	35	-
合計	872	

※回答者数：837 人

【ごみに関する情報の入手方法について】

問 27 現在、鎌倉市のごみと資源物の分別や減量、リサイクルなどに関する情報をどの媒体から得ているか、教えてください。(いくつでも)

項目	回答数	割合
1.広報かまくら	624	75.2%
2.資源物のごみの分け方・出し方	592	71.3%
3.市のパンフレット、チラシ	260	31.3%
4.ごみ減量通信	67	8.1%
5.自治町内会が作成したチラシ（回覧板）	144	17.3%
6.市のホームページ	124	14.9%
7.LINE の鎌倉ごみ調べ	122	14.7%
8.イベント、説明会	8	1.0%
9.市の SNS (X、Facebook、Youtube、note)	8	1.0%
10.市への問合せ	36	4.3%
11.ごみダイエット展（パネル）	0	0.0%
未回答	42	-
合計	2027	

※回答者数：830 人

問 28 鎌倉市における、ごみと資源物の減量や分別、リサイクルなどに関する情報発信について、希望する方法を教えてください。(いくつでも)

項目	回答数	割合
1.LINE ごみ調べでの配信	259	31.4%
2.ホームページへの掲載	270	32.8%
3.インターネット上でのチャット返信	58	7.0%
4.SNS (X、Facebook、Youtube、note) での発信	55	6.7%
5.広報誌、チラシの配布	510	61.9%
6.チラシ等の掲示	102	12.4%
7.回覧板	232	28.2%
8.インターネットを使用しない方法	84	10.2%
未回答	48	-
合計	1618	

※回答者数：824 人

クロス集計結果（一部）

・回答方法×年齢（問2）

		回答方法		
		合計	紙回答	Web回答
問2 年齢	合計	872	763	109
	n=872		87.5%	12.5%
	10代	5	4	1
	n=5		80.0%	20.0%
	20代	30	21	9
	n=30		70.0%	30.0%
	30代	46	33	13
	n=46		71.7%	28.3%
	40代	125	98	27
	n=125		78.4%	21.6%
	50代	189	154	35
	n=189		81.5%	18.5%
	60代	155	142	13
	n=155		91.6%	8.4%
	70代	168	160	8
	n=168		95.2%	4.8%
	80代～	149	146	3
	n=149		98.0%	2.0%
	未回答	5	5	0
	n=5		100.0%	0.0%

→いずれの年代でも紙回答が多く、10代を除いて年代が低いほどWEB、年代が高いほど紙による回答が多い。

・使用している生ごみ処理機の種類（問11）×年齢（問2）

		問11 生ごみ処理機の種類						
		合計	電動型（ごみを消滅させるタイプ）	電動型（ごみを乾燥させるタイプ）	電動型（デイスポーター）	電動型（その他）	非電動型（屋外用）	非電動型（屋内用）
問2 年齢	合計	105	0	36	20	1	45	3
	n=103		0.0%	35.0%	19.4%	1.0%	43.7%	2.9%
	10代	0	0	0	0	0	0	0
	n=0		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	3	0	2	1	0	0	0
	n=3		0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代	4	0	3	0	0	1	0
	n=4		0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	40代	18	0	4	7	0	6	1
	n=18		0.0%	22.2%	38.9%	0.0%	33.3%	5.6%
	50代	24	0	9	6	0	8	1
	n=24		0.0%	37.5%	25.0%	0.0%	33.3%	4.2%
	60代	14	0	5	3	0	6	0
	n=14		0.0%	35.7%	21.4%	0.0%	42.9%	0.0%
	70代	24	0	6	2	0	15	1
	n=23		0.0%	26.1%	8.7%	0.0%	65.2%	4.3%
	80代～	16	0	6	1	1	8	0
	n=16		0.0%	37.5%	6.3%	6.3%	50.0%	0.0%
	未回答	2	0	1	0	0	1	0
	n=1		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

→10代では使用されていない。

20代～50代では電動型が多く、60代以上では非電動型（屋外用）が多い。

・使用している生ごみ処理機の種類（問11）×居住形態（問6）

		問11 生ごみ処理機の種類						
		合計	電動型（ごみを消滅させるタイプ）	電動型（ごみを乾燥させるタイプ）	電動型（ディスポーザー）	電動型（その他）	非電動型（屋外用）	非電動型（屋内用）
問6 居住 形態	合計	105	0	36	20	1	45	3
	n=103		0.0%	35.0%	19.4%	1.0%	43.7%	2.9%
	戸建住宅	75	0	30	1	1	41	2
	n=74		0.0%	40.5%	1.4%	1.4%	55.4%	2.7%
	集合住宅	29	0	6	18	0	4	1
	n=28		0.0%	21.4%	64.3%	0.0%	14.3%	3.6%
	社宅・寮	0	0	0	0	0	0	0
	n=0		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	未回答	1	0	0	1	0	0	0
	n=1		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

→集合住宅では電動型（ディスポーザー）、戸建住宅では非電動型（屋外用）が最も多い。

・3Rの中で最も大切なこと（問21）×年齢（問2）

		問21 3Rの中で最も大切なこと			
		合計	ごみになるものを買わない、もらわない（Reduce:リデュース）	ごみとしてすぐに捨てずに繰り返し使う（Reuse:リユース）	きちんと分別して資源として再生する（Recycle:リサイクル）
問2 年齢	合計	855	322	103	430
	n=849		37.9%	12.1%	50.6%
	10代	5	1	0	4
	n=5		20.0%	0.0%	80.0%
	20代	30	16	4	10
	n=30		53.3%	13.3%	33.3%
	30代	46	23	8	15
	n=46		50.0%	17.4%	32.6%
	40代	125	60	15	50
	n=125		48.0%	12.0%	40.0%
	50代	188	71	23	94
	n=187		38.0%	12.3%	50.3%
	60代	153	63	13	77
	n=151		41.7%	8.6%	51.0%
	70代	164	47	21	96
	n=163		28.8%	12.9%	58.9%
	80代～	139	40	19	80
	n=137		29.2%	13.9%	58.4%
	未回答	5	1	0	4
	n=5		20.0%	0.0%	80.0%

→どの年代もリユースが最も少なく、20代～40代はリデュース、他の年代はリサイクルの割合が高い。

・利用したいリユースの取組（問22）×年齢（問2）

		問22 利用したいリユースの取組					
		合計	不要品引取り（自身で持込み）	不要品引取り（自宅等で回収）	事業者による不用品のマッチングサービス（メルカリ、ラクマなど）	地域内のフリーマーケット	シェアリングサービス
問2 年齢	合計	1421	416	457	216	224	108
	n=825		50.4%	55.4%	26.2%	27.2%	13.1%
	10代	8	2	1	4	1	0
	n=5		40.0%	20.0%	80.0%	20.0%	0.0%
	20代	54	13	14	13	8	6
	n=30		43.3%	46.7%	43.3%	26.7%	20.0%
	30代	79	17	25	17	13	7
	n=44		38.6%	56.8%	38.6%	29.5%	15.9%
	40代	219	60	69	44	28	18
	n=123		48.8%	56.1%	35.8%	22.8%	14.6%
	50代	335	118	87	59	46	25
	n=186		63.4%	46.8%	31.7%	24.7%	13.4%
	60代	270	84	93	41	32	20
	n=148		56.8%	62.8%	27.7%	21.6%	13.5%
	70代	266	73	82	27	59	25
	n=157		46.5%	52.2%	17.2%	37.6%	15.9%
	80代～	180	46	81	11	35	7
	n=127		36.2%	63.8%	8.7%	27.6%	5.5%
	未回答	10	3	5	0	2	0
	n=5		60.0%	100.0%	0.0%	40.0%	0.0%

→全体では不用品引取り（自宅等で回収）が最多だが、10代ではマッチングサービス、50代では不用品引取り（自身で持込み）が多い。マッチングサービスは、年代が低いほど選択率が高い。

・関心のある施策（問23）×年齢（問2）

		問23 関心のある施策									
		合計	燃やすごみの戸別収集（令和7年度一部地域、令和8年度全市で開始）	生ごみ処理機購入費助成制度（上限3万円で非電動型90%、電動型75%の購入費助成）	リユースネットかまくら（インターネットによる不用品登録制度）	植木剪定材からできた土壌改良材の無料配布	ふれあい収集	ごみ処理広域化（逗子市・葉山町との広域化実施計画）	給水スポットの設置（市内の公共施設等にマイボトル専用のウォーターサーバーの設置）	食品ロス削減協力店の登録	リユース食器利用費補助金交付制度
問2 年齢	合計	1320	434	164	147	128	33	148	104	121	41
	n=789		55.0%	20.8%	18.6%	16.2%	4.2%	18.8%	13.2%	15.3%	5.2%
	10代	7	2	1	0	0	0	0	2	1	1
	n=5		40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%
	20代	45	11	2	9	2	3	7	9	1	1
	n=30		36.7%	6.7%	30.0%	6.7%	10.0%	23.3%	30.0%	3.3%	3.3%
	30代	77	24	9	11	6	0	4	13	6	4
	n=45		53.3%	20.0%	24.4%	13.3%	0.0%	8.9%	28.9%	13.3%	8.9%
	40代	203	72	36	24	17	3	12	15	13	11
	n=120		60.0%	30.0%	20.0%	14.2%	2.5%	10.0%	12.5%	10.8%	9.2%
	50代	300	88	39	48	24	9	34	22	29	7
	n=178		49.4%	21.9%	27.0%	13.5%	5.1%	19.1%	12.4%	16.3%	3.9%
	60代	246	86	32	30	21	6	25	18	24	4
	n=147		58.5%	21.8%	20.4%	14.3%	4.1%	17.0%	12.2%	16.3%	2.7%
	70代	250	87	24	18	26	3	43	17	28	4
	n=149		58.4%	16.1%	12.1%	17.4%	2.0%	28.9%	11.4%	18.8%	2.7%
	80代～	185	61	21	6	32	9	23	7	18	8
	n=111		55.0%	18.9%	5.4%	28.8%	8.1%	20.7%	6.3%	16.2%	7.2%
	未回答	7	3	0	1	0	0	0	1	1	1
	n=4		75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%

→いずれの年代も燃やすごみの戸別収集が最も多いが、各世代で次に多い項目にはばらつきがある。

（10代では給水スポット、20代では給水スポットとリユースネットかまくら、30代では給水スポット、40代では生ごみ処理機購入費助成制度、50代ではリユースネットかまくら、60代では生ごみ処理機購入費助成制度、70代ではごみ処理広域化、80代以上では土壌改良材の無料配布）

・ごみと資源物の分別状況（問 7）×資源化内容の認知（問 26）

		問7 ごみと資源物の分別状況								
		合計	きちんと分別している	ほとんど分別している	時々分別している	ほとんど分別していない	まったく分別していない	自分以外の人が分別している	分からない	未回答
問 26 資源化内容の認知	合計	872	671	183	3	1	0	13	0	1
	n=872		76.9%	21.0%	0.3%	0.1%	0.0%	1.5%	0.0%	0.1%
	知っている	172	152	20	0	0	0	0	0	0
	n=172		88.4%	11.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	部分的に知っている	551	413	128	1	1	0	7	0	1
	n=551		75.0%	23.2%	0.2%	0.2%	0.0%	1.3%	0.0%	0.2%
	知らない	114	79	28	2	0	0	5	0	0
	n=114		69.3%	24.6%	1.8%	0.0%	0.0%	4.4%	0.0%	0.0%
認知	未回答	35	27	7	0	0	0	1	0	0
	n=35		77.1%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%

→資源化の内容を知っている人は全員がきちんと又はほとんど分別している。

資源化の内容を知っているほど、きちんと分別している割合が高い。

・希望する情報発信（問 28）×年齢（問 2）

		問28 希望する情報発信方法								
		合計	LINEごみ調べでの配信	ホームページへの掲載	インターネット上でのチャット返信	SNS (X、Facebook、Youtube、note) での発信	広報誌、チラシの配布	チラシ等の掲示	回覧板	インターネットを使用しない方法
問2 年齢	合計	1570	259	270	58	55	510	102	232	84
	n=824		31.4%	32.8%	7.0%	6.7%	61.9%	12.4%	28.2%	10.2%
	10代	9	2	3	0	1	1	0	2	0
	n=5		40.0%	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%
	20代	48	9	9	7	7	7	2	6	1
	n=29		31.0%	31.0%	24.1%	24.1%	24.1%	6.9%	20.7%	3.4%
	30代	79	31	9	9	5	14	3	5	3
	n=46		67.4%	19.6%	19.6%	10.9%	30.4%	6.5%	10.9%	6.5%
	40代	224	64	46	12	9	54	8	24	7
	n=120		53.3%	38.3%	10.0%	7.5%	45.0%	6.7%	20.0%	5.8%
	50代	368	72	90	10	18	102	21	44	11
	n=182		39.6%	49.5%	5.5%	9.9%	56.0%	11.5%	24.2%	6.0%
	60代	287	41	59	10	13	95	12	39	18
	n=147		27.9%	40.1%	6.8%	8.8%	64.6%	8.2%	26.5%	12.2%
	70代	298	26	35	6	0	124	30	57	20
	n=154		16.9%	22.7%	3.9%	0.0%	80.5%	19.5%	37.0%	13.0%
	80代～	247	11	19	3	2	109	26	53	24
	n=136		8.1%	14.0%	2.2%	1.5%	80.1%	19.1%	39.0%	17.6%
	未回答	10	3	0	1	0	4	0	2	0
	n=5		60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	40.0%	0.0%

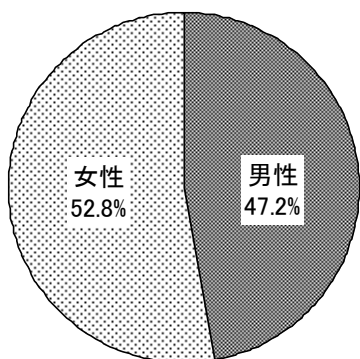
→10代～40代ではオンライン（LINE ごみ調べ及びホームページ配信）、50代以上では広報誌、チラシの配布が多い。

前回との比較

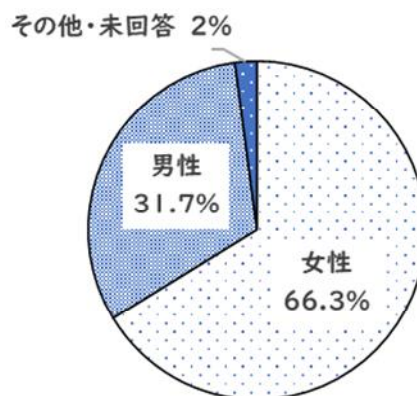
【属性】

問1 性別

[前回]

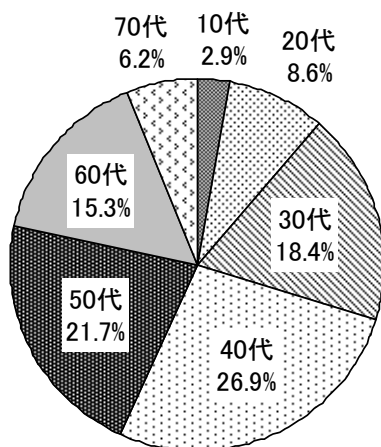


[今回]

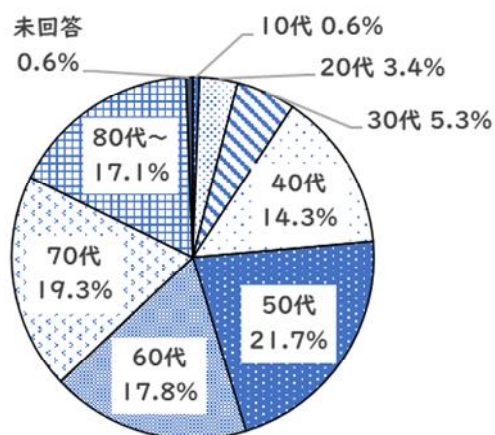


問2 年齢

[前回]

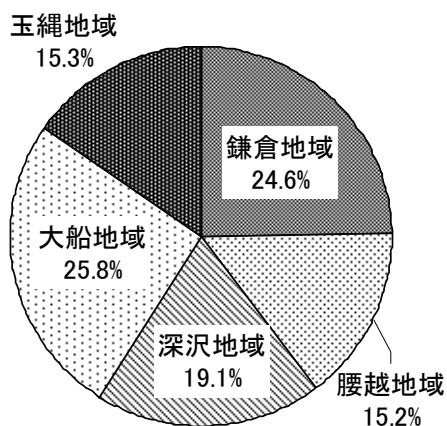


[今回]

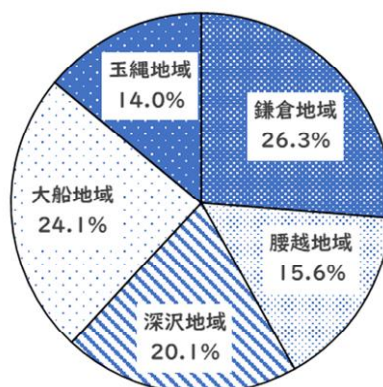


問3 居住地域

[前回]



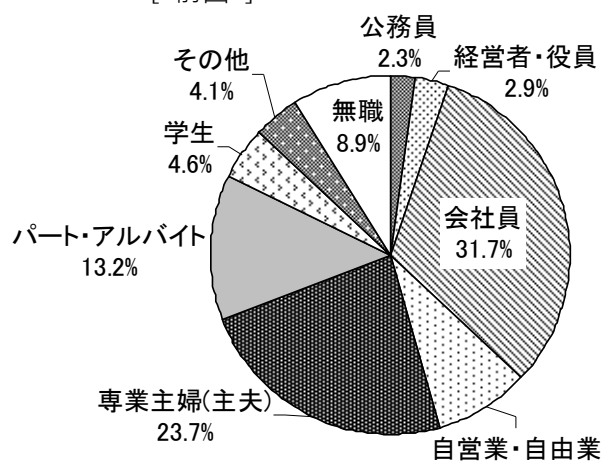
[今回]



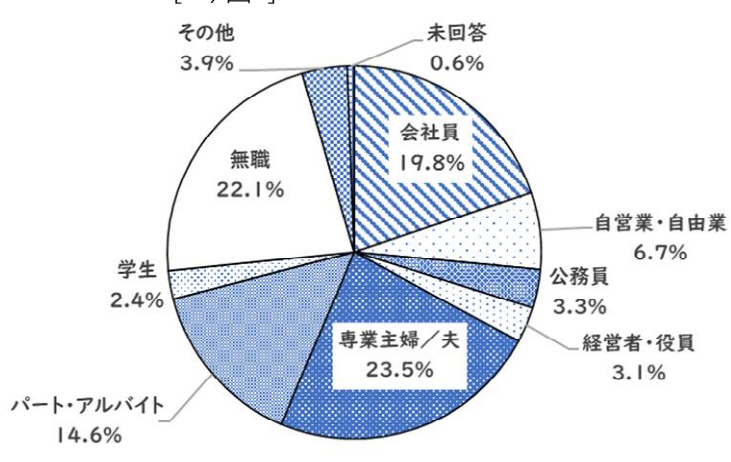
※（今回）台については、1丁目が玉縄地域、未表示地区及び2～4丁目が大船地域であり、令和7年1月現在の鎌倉市人口（令和2年国勢調査結果（確定値）を基礎として、住民基本台帳法及び戸籍法の定める届出等の増減を加算して推計）の地域別・町丁・字別人口における割合で按分して算出しました。

問4 職業

[前回]

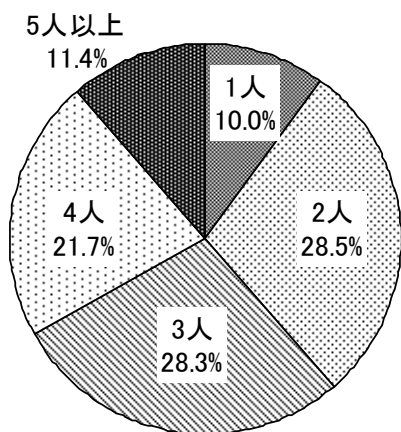


[今回]

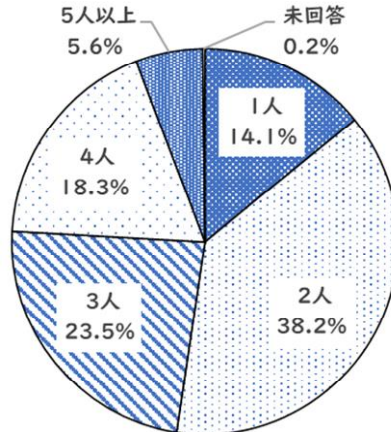


問5 世帯人数

[前回]

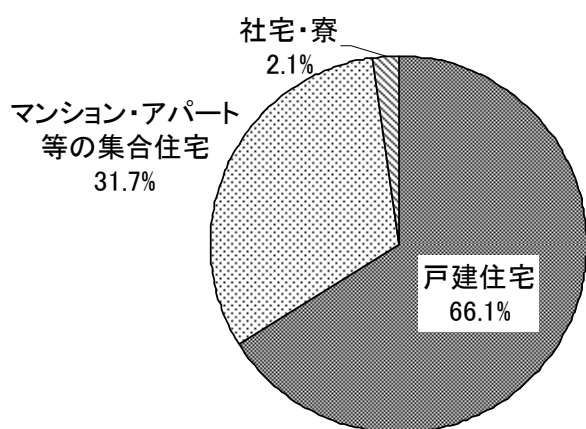


[今回]

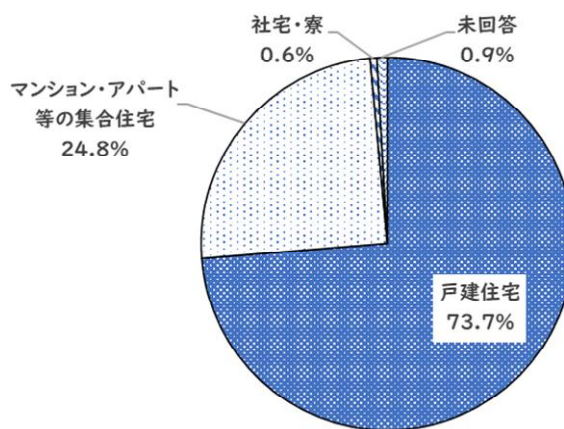


問6 居住形態

[前回]



[今回]



※以下の比較において、前回と今回との選択肢設定の相違により、選択肢が存在しない項目は「-」と表記しています。

【ごみと資源物の排出及び分別状況について】

問7 あなたはごみと資源物を以下の品目別に分別して出していますか。

ごみと資源物の品目

飲食用カン、飲食用ビン、容器包装プラスチック、製品プラスチック、ペットボトル、植木剪定材、紙パック、ミックスペーパー、新聞・雑誌・ボール紙・段ボール、布類、使用済み食用油、燃えないごみ、危険・有害ごみ（蛍光管、乾電池など）、燃やすごみ、粗大ごみ、棒状板状等粗大ごみ、棒状板状等特定粗大ごみ

項目	前回			今回	
	回答数	割合		回答数	割合
1.きちんと分別している	338	60.2%	→	671	77.0%
2.ほとんど分別している	203	36.2%		183	21.0%
3.時々分別している	7	1.2%		3	0.3%
4.ほとんど分別していない	1	0.2%		1	0.1%
5.まったく分別していない	2	0.4%		0	0.0%
6.自分以外の人が分別している	7	1.2%		13	1.5%
7.分からない	3	0.5%		0	0.0%
未回答				1	
合計	561			872	

※回答者数 前回：561人 今回：871人

問8 問7で「1. きちんと分別している、2. ほとんど分別している、3. 時々分別している」を選択された方におたずねします。分別する理由を教えてください。（2つまで）

項目	前回			今回	
	回答数	割合		回答数	割合
1.分別することがルールで定められているため	357	65.1%	→	698	81.8%
2.地球の資源を大切に、循環型の社会をめざすため	221	40.3%		429	50.3%
3.鎌倉の環境を良くするため	140	25.5%		148	17.4%
4.鎌倉市内の焼却施設が停止することで、焼却量を減らさなくてはならないため	64	11.7%		85	10.0%
5.焼却によるCO2排出量を減らすため	41	7.5%		118	13.8%
6.その他	16	2.9%		13	1.5%
合計	839			1491	

※回答者数 前回：548人 今回：853人

問9 問7で「4. ほとんど分別していない、5. まったく分別していない」を選択された方におたずねします。分別していない理由を教えてください。（2つまで）

項目	前回			今回	
	回答数	割合		回答数	割合
1.面倒なため	2	66.7%	→	3	50.0%
2.分別しても本当にリサイクルされているか分からないため	1	33.3%		0	0.0%
3.なぜごみの減量やリサイクルをするのか分からないため	0	0.0%		1	16.7%
4.分別方法が複雑で分からないため	0	0.0%		1	16.7%
5.自分1人がごみの減量やリサイクルに取り組んでも何も変わらないため	0	0.0%		0	0.0%
6.仕事や家事に追われてごみについて考える余裕がないため	0	0.0%		1	16.7%
7.その他	0	0.0%		0	0.0%
合計	3			6	

※回答者数 前回：3人 今回：6人

問10 生ごみ処理機の使用状況を教えてください。生ごみ処理機を使用していますか。

※前回の設問は、「生ごみについて、あなたのご家庭では現在どのような方法で処理していますか。（いくつでも）」

項目	前回			今回	
	回答数	割合		回答数	割合
1.使用している（※2）	76	13.5%	→	96	11.1%
2.使用していない	504	89.8%		729	84.6%
3.使用していないが生ごみは庭などに埋めている	34	6.1%		37	4.3%
その他の方法で生ごみを処理している（※3）	6	1.1%		-	-
未回答				10	
合計	620			872	

※1 回答者数 前回：561人 今回：862人

※2 前回は「家庭用生ごみ処理機やコンポストで処理している」67件（11.9%）、「家庭用生ごみ処理機で乾燥後、「燃やすごみ」の収集に出す」9件（1.6%）の合計

※3 前回の選択肢であり、今回は選択肢としていません。

問 12 あなたはご家庭で、食材を無駄がないように調理に使う・食べるようにしていますか。

項目	前回			今回	
	回答数	割合		回答数	割合
1. いつもしている	97	17.3%	→	356	41.2%
2. ほとんどしている	318	56.7%		438	50.7%
3. 時々している	123	21.9%		56	6.5%
4. ほとんどしていない	13	2.3%		10	1.2%
5. まったくしていない	3	0.5%		0	0.0%
6. 家庭では食材を一切調理しない／食べない	7	1.2%		4	0.5%
未回答				8	
合計	561			872	

※回答者数 前回：561人 今回：864人

問 13 問 12 で「1. いつもしている、6. 家庭では食材を一切調理しない／食べない」以外を選択された方におたずねします。あなたのご家庭から食材の無駄が出てしまう理由は何ですか。（いくつでも）

項目	前回			今回	
	回答数	割合		回答数	割合
1. 食材を多く買ってしまう	91	19.9%	→	212	45.5%
2. 余分に作ってしまう（※2）	144	31.5%		137	29.4%
3. 余った食材を上手に調理できない	84	18.4%		97	20.8%
4. 適切な保管方法が分からずすぐに傷んでしまう	79	17.3%		62	13.3%
5. 保存食品（缶、カップ麺など）の賞味期限に気付かない	79	17.3%		106	22.7%
6. 食材の在庫を把握できていない	63	13.8%		68	14.6%
7. その他	74	16.2%		56	12.0%
合計	614			738	

※1 回答者数 前回：457人 今回：466人

※2 前回は「家族の予定が分からず、余分に作ってしまう」85件（18.6%）、「いつも多目に作りすぎてしまい、料理が余ってしまう」59件（12.9%）の合計

問 15 外食時に食べ残さないようにしているか教えてください。

項目	前回			今回	
	回答数	割合		回答数	割合
1.いつもしている	263	46.9%	→	556	64.1%
2.ほとんどしている	239	42.6%		225	26.0%
3.時々している	37	6.6%		27	3.1%
4.ほとんどしていない	15	2.7%		7	0.8%
5.まったくしていない	3	0.5%		4	0.5%
6.外食はしない	4	0.7%		48	5.5%
未回答				5	
合計	561			872	

※回答者数 前回：561 人 今回：867 人

問 16 問 15 で「1. いつもしている、6. 外食はしない」以外を選択された方におたずねします。
外食時に食べ残しが出る理由は何ですか。(いくつでも)

項目	前回			今回	
	回答数	割合		回答数	割合
1.嫌いな食材や味付け・調理方法のため	89	30.3%	→	65	25.6%
2.少なめに注文できるシステムが飲食店にないため	84	28.6%		114	44.9%
3.味や量がメニューでイメージしていたものと違うため	74	25.2%		94	37.0%
4.食べられる量に関係なく、食べたいものを注文するため	31	10.5%		29	11.4%
5.時間制限がある場合、食べ終わる前に時間が終わってしまうため	30	10.2%		4	1.6%
6.食べ残しても追加料金などのペナルティがないため	18	6.1%		12	4.7%
7.大皿での提供で残った料理の取り分けを遠慮してしまうため	-	-		9	3.5%
8.その他	44	15.0%		31	12.2%
合計	370			358	

※回答者数 前回：294 人 今回：254 人

問 21 市民一人ひとりがごみの減量、資源化をすすめるために、以下に示す 3 R の中で最も大切なことは何だと思いますか。(1 つだけ)

項目	前回			今回	
	回答数	割合		回答数	割合
1.ごみになるものを買わない、もらわない (Reduce:リデュース)	258	46.0%	→	322	37.9%
2.ごみとしてすぐに捨てずに繰り返し使う (Reuse:リユース)	88	15.7%		103	12.1%
3.きちんと分別して資源として再生する (Recycle:リサイクル)	215	38.3%		430	50.6%
未回答				23	
合計	561			878	

※回答者数 前回：561 人 今回：849 人

問 24 生ごみを捨てる前に水切りをしているか教えてください。

項目	前回			今回	
	回答数	割合		回答数	割合
1. いつもしている	187	33.3%	→	529	63.9%
ほとんどしている (※2)	241	43.0%		-	-
2. 時々している	91	16.2%		207	25.0%
3. ほとんどしていない	26	4.6%		74	8.9%
4. 全くしていない	16	2.9%		18	2.2%
未回答				44	
合計	561			872	

※1 回答者数 前回：561 人 今回：828 人

※2 前回の選択肢であり、今回は選択肢としていません。

問 27 現在、鎌倉市のごみと資源物の分別や減量、リサイクルなどに関する情報をどの媒体から得ているか、教えてください。(いくつでも)

項目	前回			今回	
	回答数	割合		回答数	割合
1.広報かまくら	470	83.8%	→	624	75.2%
2.資源物のごみの分け方・出し方	-	-		592	71.3%
3.市のパンフレット、チラシ	198	35.3%		260	31.3%
4.ごみ減量通信	126	22.5%		67	8.1%
5.自治町内会が作成したチラシ(閲覧板)	133	23.7%		144	17.3%
6.市のホームページ	86	15.3%		124	14.9%
7.LINE の鎌倉ごみ調べ	-	-		122	14.7%
スマートフォン向けアプリ(鎌倉ごみバスターズ)	2	0.4%		-	-
8.イベント、説明会	16	2.9%		8	1.0%
9.市の SNS (X、Facebook、Youtube、note)	-	-		8	1.0%
市のフェイスブック	2	0.4%		-	-
10.市への問合せ	11	2.0%		36	4.3%
11.ごみダイエット展(パネル)	5	0.9%		0	0.0%
その他	11	2.0%		-	-
未回答				42	
合計	1060			2027	

※回答者数 前回：561 人 今回：830 人